



CUSTOMER SUPPORT



BLUESUN SOLAR CO.,LTD

Add:1499 Zhenxing Road, Shushan District,230031 Hefei,China

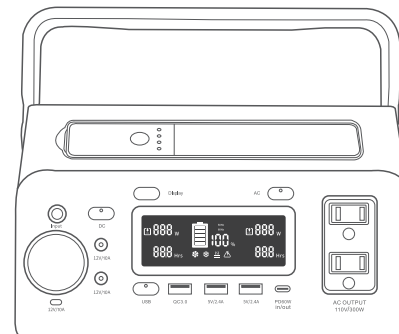
Tel:+86 (158) 5821 3997 Fax:+86 (551) 6520 3660

E-mail:info@bluesunpv.com Http://www.bluesunpv.com



PORTABLE POWER STATION

Savior 300/Savior C300T



User Manual

Reading this user manual thoroughly before use is a MUST for your safety and the safety of others.

重要な安全事項

Gearflyポータブル電源の使用は一定の電力範囲内の機器に限られている。これを無視し、誤った取り扱いとすると、人がケガをしたり、物的損害を与えたり、本品が破損する恐れがある。

本品をご使用になる前、必ず本書をお読み頂き、若しくは適切な指導を受けてから、安全に本品を使用してください。



1. 大人の監督指導なく子供に本品を操作させたり、またおもちゃとして遊ばせたりしないでください。本品は電子製品に属し、おもちゃではない。



2. 硬貨、鍵、ヘアピンなどの金属品から離れてください。短絡が発生する原因となる。



3. 弊社Gearflyが提供する純正品のケーブルと電源アダプターのみを使用してください。非正規販売店で購入した付属品を使用すると、けがや本品破損の原因となる。



4. 勝手に本品を分解したり修理したりしないでください。ご依頼があったら、気軽に弊社にお問い合わせください。



5. 破損した電源ケーブル若しくはアダプターを使用しないでください。感電の恐れがある。



6. 風の通した場所で本品を充電してください。換気口をふさがないでください。



7. 火中へ投入したり、水などの液体に浸たりしないでください。爆発の恐れがある。当地の法律法則を遵守し、本品の回収・処分を行ってください。



8. 乾燥した場所で本品の使用・保存はしてください。多湿場所を避けてください。



9. 雨、雪の天気で本品を使用しないでください。電撃の恐れがある。



10. 本品の上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。



11. 使用中に、布、ティッシュなどのものを覆わないでください。



12. 火元、熱源の近く、直射日光のあたる場所、また130℃（266°F）以上の高温場所での使用・保管をしないでください。爆発の恐れがある。

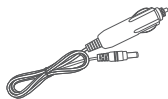


13. 誤った取り扱いによる火災・爆発・感電について、弊社は一切の責任を負いかねる。

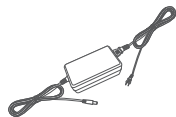
同梱品リスト



ポータブル電源



車載充電器

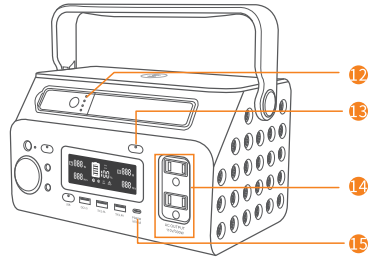
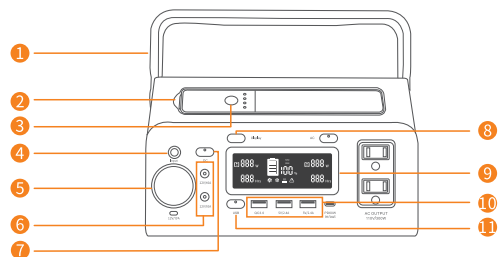


19V/3.15A ACアダプター



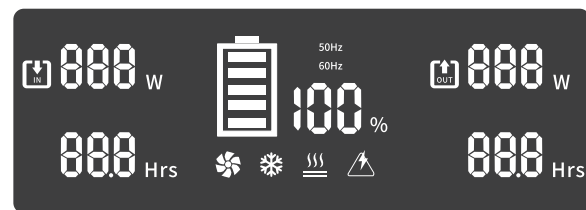
取扱説明書

製品の概要





- | | | |
|-------------------|----------------|---------------------|
| ① ハンドル | ⑥ DC出力ポート | ⑪ USB出力ボタン |
| ② 取り外し可能なフラッシュライト | ⑦ DC出力ボタン | ⑫ 懐中電灯のバッテリーインジケーター |
| ③ LEDフラッシュライトボタン | ⑧ LEDディスプレイボタン | ⑬ AC出力ボタン |
| ④ DC入力ポート | ⑨ LEDディスプレイ | ⑭ AC出力ポート |
| ⑤ シガーソケット出力ポート | ⑩ USB出力ポート | ⑮ Type-C 入力/出力ポート |

LEDディスプレイ



	バッテリーライト	バッテリーの残量を表示する。充電中または残量5%以下になると、点滅する。
888 W	入力インジケーター	充電中の入力パワーが表示されます。
888 W	出力インジケーター	作動中の出力パワーが表示されます。複数ポートの場合、合計電力になる。
888 Hrs	残りの時間	残りの持続時間（推定値）を表示する。
50Hz 60Hz	AC入力の周波数	AC出力ボタンがオンになると、これが表示される。（外部ACデバイスを接続する前に、LEDディスプレイボタンとAC出力ボタンを同時に約5秒間長押しすると、50Hzと60Hzとの間が切り替えられる。）
	ファンの動作状態	ファンが回転すると、このアイコンが点灯する。（入力電力と出力電力が合計で75Wに達すると、ファンが自動的に作動して熱を放散する。）
	低温警報	本体の内部温度が充電中に0°C / 32°F以下となり、または内部温度が放電中に-10°C / 14°F以下となる場合、このアイコンが点灯する。

	高温警報	本体の内部温度が充電中に50°C/122°F以上となり、または内部温度が放電中に60°C/140°F以上となる場合、このアイコンが点灯する。
	故障警報	短絡/過負荷が発生し、または本体の内部温度が充放電中にしきい値に達した場合、このアイコンが点灯する。

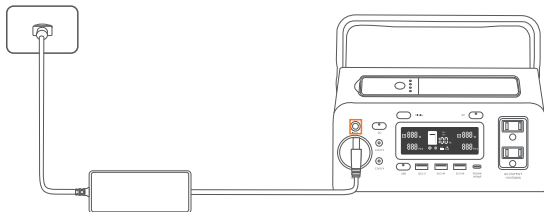
取扱事項

充電

- * 本体は充電式リチウム電池を内蔵している。初めて使用する前に本体を充電してください。
- * バッテリー残量が5%以下になると、LEDディスプレイのバッテリーライトが点滅し初めます、本体を充電してください。高出力で長時間を作動した後、30分ぐらいを置いてから充電をオススメします。

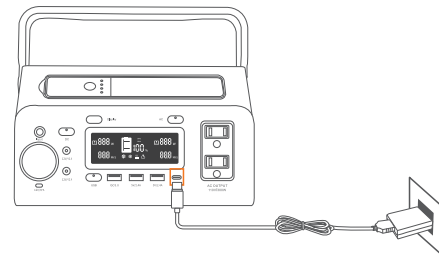
オプション1：ACアダプターを利用する

付属のACアダプターをDC入力ポートと電気コンセントに接続して充電する。フル充電までわずか6-8時間がかかる。



オプション2：USB-C充電器を利用する

USB-C充電器をType-C入力ポートと電気コンセントに接続して充電する。フル充電までわずか7時間がかかる。

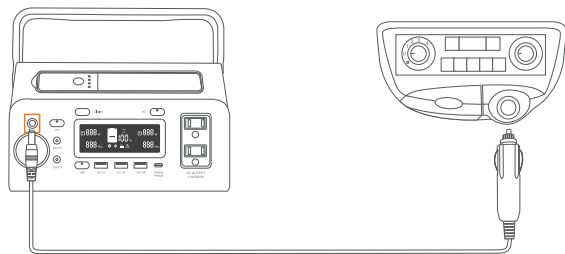


！ ご注意：

- * 高速充電が実現するために、本体はACアダプターとUSB-C充電器の同時充電に対応できる。フル充電までわずか3-4時間がかかる。
- * 本体充電中でもデバイスへの給電ができます。
- * 充電中、AC/USB-C充電器を触らないでください。
- * 充電完了の後、AC/USB-C充電器を抜き出してください。

オプション3：車載充電器を利用する

付属の車載充電器をDC入力ポートと車のシガーライターとに接続して充電する。フル充電までわずか7時間がかかる。



！ ご注意：

- * 車載充電器を利用する場合、シガーライターの出力電圧が11Vに達するようにしてください。
- * 車載充電器で本体を充電する前、安定した電源を確保するために、まず車のエンジンを始動してください。

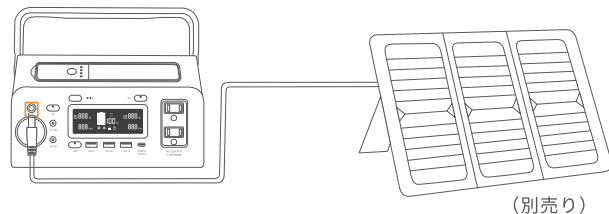
オプション4：ソーラーパネルを利用する

ステップ1：

ソーラーパネルをできるだけ多くの直射日光に当たる場所に置く。

ステップ2：

ソーラーパネルのDC出力ポートを本体のDC入力ポートに接続する。



(別売り)

！ ご注意：

- * 出力60W-100Wのソーラーパネルをオススメします。
- * 場所、気温、天候などの要素によって、充電時間が異なる。
- * 充電の際、本体の寿命を延ばすために、高温や直射日光を避けてください。

充電状態

 50%	 100%	 1%
充電中	フル充電	低電量

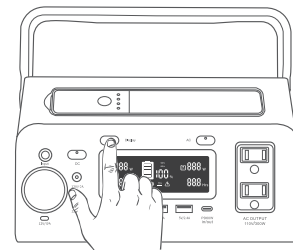
LEDディスプレイのオン/オフ

- * LEDディスプレイボタンを1秒押してLEDディスプレイを起動すると、バッテリー残量が表示される。
- * LEDディスプレイボタンを3秒間長押しすると、LEDディスプレイとすべての出力ポートがオフになります。
- * 省電量デザインのため、下記の場合ではLEDディスプレイが自動的にオフになります。

- ① 外部にデバイスが接続おらず、且つ全部の出力ボタンをオフにされ、10秒後に何の操作もしないの場合。
- ② 外部にデバイスが接続おらず、且つ全部の出力ボタンをオフにされ、充電完了10秒後に何の操作もしないの場合。

ご注意：

LEDディスプレイがオフになると、デバイスの電源が切れるという意味です。



外部デバイスに接続する

❗ 重要：

- * バッテリー残量が5%になると、本体はAC出力への供給が停止される。
- * 外部デバイスが接続していない場合、2時間後に本体の電源が自動的にオフになる。
- * 電池の無断消耗を防止するため、使用済にすべての出力ボタンを手動でオフのをおすすめです。

1.DC出力とUSB出力

ステップ1：

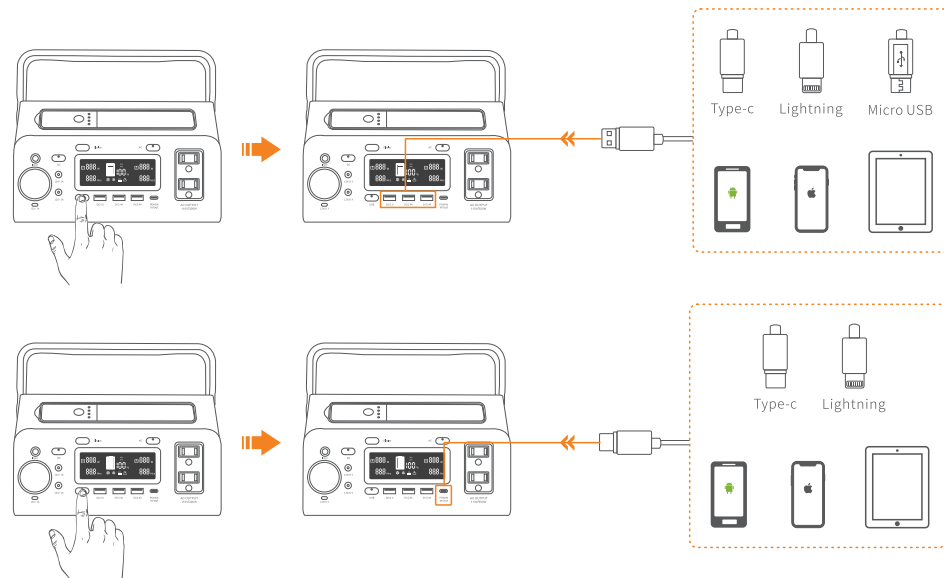
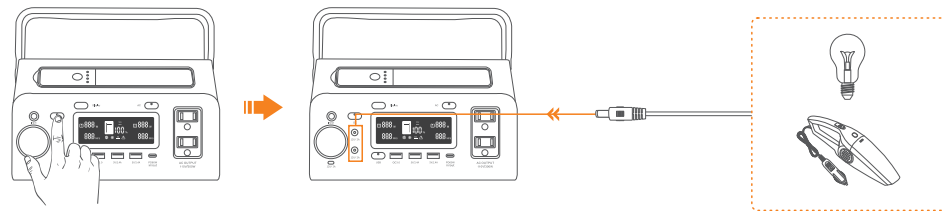
DC出力ボタンを1秒押すと、DC出力ポートからDCデバイスに給電できます、再度押すとDC出力ポートがオフになる。USB出力ボタンを1秒押すと、USB出力ポート（Type-C出力含む）からUSBデバイスに給電できます、再度押すとUSB出力ポートがオフになる。

❗ ご注意：

ボタンの内蔵インジケータライト状態をご確認ください、点灯になると外部デバイスへの電力供給が準備できる。

ステップ2：

対応するケーブルを利用して、デバイスをポータブル電源へ接続する。



2.AC出力

ステップ1：

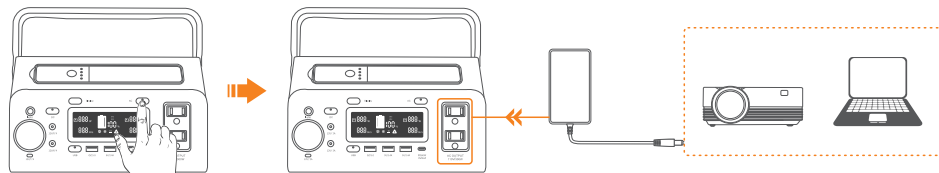
AC出力ボタンを1秒押すと、AC出力ポートからACデバイスに給電できます、再度押すとAC出力ポートがオフになる。

❗ ご注意：

ボタンの内蔵インジケータライト状態をご確認ください、点灯になると外部デバイスへの電力供給が準備できる。

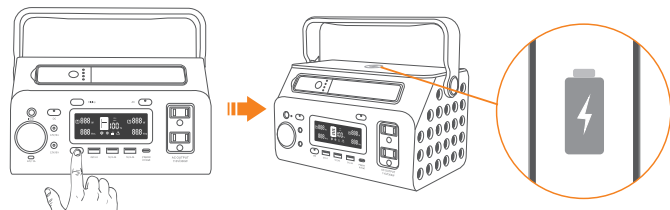
ステップ2:

デバイスをAC出力ポートと接続する。



3. ワイヤレス充電

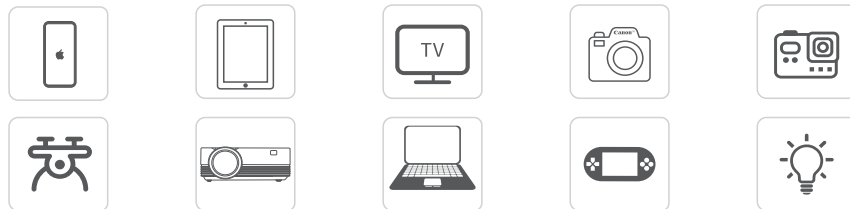
USB出力ボタンを1秒押すと、ワイヤレス充電機能がオンになる。ワイヤレス充電が対応するデバイスを、本体上部部分に配置すると充電できる。



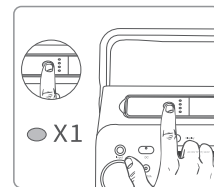
ヒント:

ワイヤレス充電が無事作動できるように、モバイルデバイスはワイヤレス充電部分の中央に配置する必要がある。

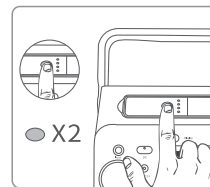
4. 対応デバイス(ご参考まで)



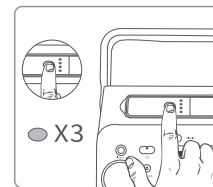
LEDフラッシュライトを操作する



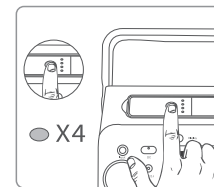
LEDフラッシュライトボタンを1回押すと、ライトが点灯する。



2回目押すと、ライトが素早く点滅する。



3回目に押すと、ライトがSOS信号のパターンで点滅する。



4回目に押すと、ライトが消灯にする。

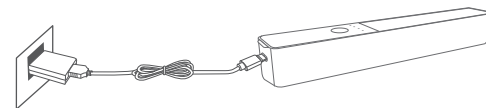
! ご注意:

* 強い光で目を傷めないよう、LEDフラッシュライトを直視しないでください。

懐中電灯の充電について

懐中電灯の充電方法が下記をご参考ください:

- 1 ポータブル電源本体に搭載している場合、DC/AC/USB出力ボタンを押すと充電できます。
- 2 ポータブル電源本体に外した場合、本体に戻して(ライト裏部の充電接点位置を確認ください) 充電するかUSB-C充電器で充電できます。



インジケータライトについて

充電中: 点滅する。

充電完了: 10秒点灯後に消灯する。

ショート/電流負荷からの保護

本品の許容電流定格を超えた場合、本品がすぐ短絡保護を起動する。過電流が検出されると本品がすぐ回路を遮断する。過負荷保護とは継続的な過電流に対する用いられた保護対策。連続的な過電流が検出されると、本品がすぐ回路を遮断する。ショートあるいは電流負荷が発生した際、速やかにポータブル電源を接続しているデバイスとケーブルを切断し、回路を遮断すること。

お手入れの仕方

1. 長期間本品を使用しない場合、本品の電源ボタンを切り、乾燥した場所に保管してください。
2. 低温環境はバッテリーに影響する場合があるので、推薦の温度範囲以外で使用しないでください。 本品が正しく動作しない原因となる。
3. 本品を長時間使用しない場合でも、3ヶ月に一度、放電と充電を行ってください。
4. 本品が高温若しくは短絡警報を発信した場合、本品をよく調べてください。
5. 正規販売店のアダプターのみをご使用ください。

バッテリー

- * ポータブル電源はリチウムバッテリーが内蔵されている。
- * 加熱で火災あるいは傷害を引き起こす原因となるため、製品を自分で修理しないこと。
- * 製品に水を流し込んだり、あるいは水をかけないようにすること。
- * 製品内のバッテリーは許可を受けた業者が修理あるいは回収しなければならない、通常の家庭ゴミとは分別して処理しなければならない。

仕様

本体	ACアダプター電源	AC 100-240V	作動温度	-10°C-40°C (14°F-104°F)
	充電電圧	DC 11~28V	電源入力ポート	DC 19V/3.15A & PD 60W
	充電目安	6 Hours	電源出力ポート	DC 12V/10A
	AC定格出力	300W	ACピーク出力	600W
内蔵バッテリー	バッテリータイプ	18650	総重量	1600g
	総容量	80000mAh/296Wh	バッテリー数量	32
	各バッテリー毎のリチウム含有量	50g	各バッテリー容量	9.25Wh

よくあるご質問

Q1. DC出力ポート若しくはUSB出力ポート若しくはType-C出力ポートを利用しほかの機器を充電できない？

- * Dc出力ボタンを1秒押して本体のDC出力への電力供給をアクティベートするか、又はUSB出力ボタンを1秒押して本体のUSB出力とType-C出力への電力供給をアクティベートする。
- * 本体の電量が足りるのを確認してください。

Q2. ACポートを利用しほかの機器を充電できない？

- * Ac出力ボタンを1秒押して本体のAC出力への電力供給をアクティベートする。
- * 本体の電量が足りるのを確認してください。
- * 複数の電器を同時に給電する時、消費電力を合わせて300Wを超えないようご注意ください。

Q3. 本品は飛行機で利用できない？

- * 国際民間航空機関の規制によると、100ワット時以下のリチウムイオンバッテリーは機内持ち込みでのみとなる。本品が296ワットで、飛行機での輸送・利用は禁じられている。

Q4. 本品は充電しながら、ほかの機器に給電できるか？

- * DC出力ポート、AC出力ポート、USB出力ポートとType-C出力ポートは充電時使用可能。しかし、バッテリー寿命を延ばすために、そのことを推薦しない。

Q5. 本品には充電できるソーラーパネルがどのような仕様か？

- * 18V / 60Wおよび18V / 100W電源且つ7.9 x0.9mm DCポート付きのソーラーパネルを推薦する。